

コミュニティ・スクールだより



CS委員が活躍した、それぞれの「CSの日」の取組

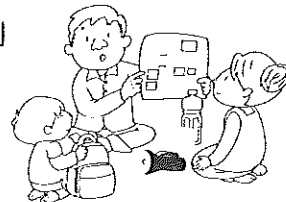
「防災教室」氷川中学校区拡大学校運営協議会の取組

4年前に起こった熊本地震。今年7月に起きた豪雨災害。熊本でもたくさんの被害を目の当たりにしました。また、氷川中学校区の東側の山手には日奈久断層も走っており、今後大きな地震の発生も心配されています。そこで、「CSの日」に、CS委員を中心に昨年度に引き続いて小中連携防災教室を企画しました。今年は、コロナ感染拡大に考慮して全員が体育館に集まる形から、各地域の公民館に集まって行う地区ごとの防災教室へ形を変え取り組みました。それぞれの地区の関係者の方にご協力いただき、話し合いを重ね当日まで準備を進めました。

当日、地区の公民館または体育館に、小中学生・区長・消防団員・民生委員・児童委員・PTA地区役員・担当地区の小中学校職員が集まり、3時間のプログラムを行いました。プログラムは以下の通りですが、それぞれの地区で実際に危険箇所を回り確認し合うなど、工夫を凝らし、それぞれの地区ならではの防災教室が行われました。

<防災教室プログラム> 8時30分～11時30分

1. 開会(挨拶・自己紹介・活動確認など)
2. 考えよう1:「登校中に地震が起きたら?」+「シェイクアウト訓練」
3. 考えよう2:「地域の危険箇所はどこ?」
4. 確認しよう:「地域にある子ども110番の家はどこ?」
5. 考えよう3:「避難時に持って行くものは?」
6. 防災〇×クイズ
7. まとめ:「活動を振り返ってみよう」
8. 閉会



子供達が、いろんな場面で自分がどうすれば良いのかを考えるなかで、グループでの話し合いを中学生がまとめたり、区長や消防団の方のアドバイスを聞いたりしながら、意見交換が活発に行なわれました。その場の状況をしっかり把握したうえで、どう危険から身を守るかを子供達一人一人が真剣に考える機会になりました。また、各地区で分かったことを地図上にシールなどを貼って分かりやすく示したり、防災〇×クイズに答えたり、趣向を凝らした活動に、小学生も楽しみながら学び、防災への関心を高めました。避難時に持って行くものの一つとして、町で備蓄されている非常食を分けて頂き、実際さまざまな種類のものがあることを知るだけでなく、お土産をもらい子供達も大喜びでした。地区の方々に応援して頂きこのような防災教室ができるだけでなく、町としても支援を頂けたことに感謝しています。きっと、お土産と共に今日の防災教室で感じたことを話題に、家庭でも防災意識を高められたことと思います。「命を大切に思う防災」と共に、地域の「自然・文化・人の良さ」に改めて大人も一緒に気づかされたCSの日になりました。

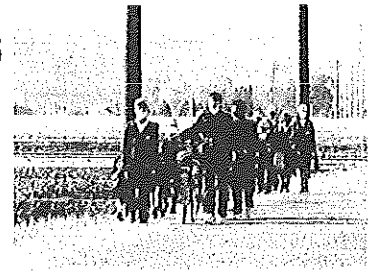


「オータム交流会」竜北中学校区拡大大学校運営協議会の取組

竜北中学校区拡大CSでは、「15の春を輝かせるために」のテーマのもと、「中学生が活躍する防災教室」に取り組みました。学校運営協議会での協議・3校の代表CS委員で構成するワーキングチームでの会議を踏まえ、拡大CSで全員がしっかり共通認識をしたうえで、中学生とCS委員の合同会議を持ち、話を進めていきました。実際、一緒に危険箇所を歩いて見て回り写真を撮ったり、防災教室をどう進めていくのかを綿密に話し合ったり、各地区担当のCS委員と中学生と一緒に作りあげていきました。当日も小学生と登校しながら声かけし、新たに小学生にとっての危険箇所を発見して付け加える姿も見られました。優しく小学生に語りかけ、危険箇所の写真を使ったパワーポイントで小学生に説明する姿は、とても頼もしかったです。CS委員との準備の中でも、中学生が自ら質問する様子も見られ、お互いがこのように一緒に取り組む機会を喜び、交流を深めながら児童との防災教室に臨むことができました。

「任せてください！」という生徒も、「緊張しました。」とホッとした顔を見せた生徒も、CS委員と小学生と一緒に作った防災教室がまた次の一歩につながったと思います。

防災教室の後は、それぞれの学校に戻り活動が行われました。竜北中学校では、1,2年生が、それぞれの地区に分かれてCS委員も入り、防災について話し合いが行われました。本日の活動の振り返りと自分たちの校区の危険箇所を付箋を使って、防災マップでチェックや把握をし確認等を行いました。

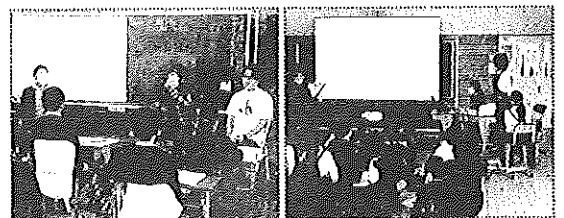
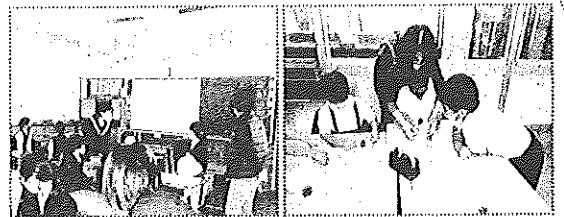


竜北西部小学校学校運営協議会の取組

何度も協議を進めCSの日を迎えてきました。CS委員の宮村さんを中心に作った「南鹿野の良さ」をリモートで発信。子どもたちは、南鹿野地区の歴史や伝統行事、地域の方の思いが分かりました。

また、CS委員の宮崎さんが作成された「CS委員の紹介」動画を通して、学校運営協議会の活動を知ることができました。子どもたちに「CSの方を中心として、地域の方からたくさん見守られている。」と十分に伝わったと思います。

午後からのふれあい授業では、担任とCS委員の方々が一緒になり内容を考えました。講師の方を探されたり、自らゲストティーチャーとして授業をされたりする活動は、子ども達にとって充実した、楽しい時間となりました。来年につながる「CSの日」となりました。



竜北東小学校学校運営協議会の取組

竜北東小学校では、防災教室後、避難所である竜北公園までの避難経路を歩いて確認しました。朝から行った防災教室を活かすとともに、普段の登校班の様子を振り返り、もう一度「命の大切さ」について確認し合いました。CS委員全員の紹介もあり、児童と共に1日活動し、素敵な汗を流しました。

午後からは、学年別に生活や総合的な学習の時間のゲストティーチャーやコーディネーターとしてCS委員が活躍。地域の特産物について晩白柚農家を訪れたり、さまざまな職業の方に話を聞いたり地域について学ぶ機会になりました。中学生の先輩や地域の素敵な大人の方と過ごし、子供達の笑顔がたくさん見られたCSの日でした。

